

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

未来を拓く中間組織

新しいステージへ・・・1P

日本地域福祉学会

7回優秀実践賞受賞にあたって・・・1P

協働ロードマップ事業の報告会・・・2P

筑波学院大学・明治学院大学 視察・・・2P

「ブレマクラブ彦州」完成・・・2P

ゆめじろうお披露目会・・・2P

ソーシャルファイナンス

「資金の借り手」編・・・3P

今月のバスツアー・・・3P

ソーシャルビジネスメッセ・・・3P

総会のお知らせ・・・3P

サボちたインフォメーション・・・4P

未来を拓く中間組織 新しいステージへ

代表理事 松下典子

昨年10周年の節目は、当組織にとって人も組織も新しいステージの始まりでした。これまで、NPOの実態にあった中間的役割を現場と共に、一丸となって創りあってきました。そのプロセスは、周りの理解と信頼の基盤づくりであり、情報交換や話し合いの機会を重ね、中間の役割づくりに努めてここまで来ました。が、中間組織そのものが新しい存在であり、社会的役割としての成果はこれからです。昨年の記念イベントや、サービ斯拉ーニングの学生との出会いを通して、市民活動が社会変革というより「必要だから、大切な事だから」の当たり前前の活動参加と言う、新しいうねりを感じます。まさに地域活動の新しいステージの始まりと同時に、人の動きが変わり、地域で過ごす人の風景も機能も、当然時と共に変わってきています。

これまでのニーズや課題そのものも、生き物のように成長、進化し、活動現場も変化しています。身近な市民が「地域のことは私たちで！」と、責任ある市民の育ちあいが顕著に始まっています。

「福祉のある優しい“我がまち”づくり」事業の展開は、“ないサービスは創り出す”を合言葉に、半島全体のネットワーク会議となって、市町のさまざまな組織につながりました。そこで、熱心に地域で暮らし続けるための在宅問題の話し合いが始まり、情報共有と問題解決の方向を共有することができました。

このネットワーク会議は、バラバラになった人と人、組織の共通する課題を共に考え、地域をよくしていこうと始まった地域再生につながるものです。地域の中に小さなグループがあちこちに誕生、動き始めています。さらに地域課題を解決するための話し合いの場、出会いの場になっています。この市民や組織につながることから、地域の新しい仕組みや新しいふれあい社会になって

いくものと思います。

そのために、これから市民の主体的活動を持続可能な仕組みにする行政、企業、大学とNPOの相互理解と協働が欠かせません。その協働をつなぐ、仕掛ける主体として、これから中間組織の更なる基盤整備と確立を、新しいステージに託したいものです。

今月の総会を以て、これまで担ってきた代表の役を終えますが、全てまだまだこれからという途上にあります。社会をよりよくするための地域活動は続きます。

この組織作りの仲間に出会い、機会をいただいたことに感謝します。

日本地域福祉学会 第7回優秀実践賞の授賞にあたって

日本福祉大学社会福祉学部准教授 原田正樹

「地域福祉サポートちた」に私たちの学会から優秀実践賞を授賞させていただくことができることを嬉しく思います。

この学会は1987年に設立されました。地域住民が安心して暮らせる福祉コミュニティ構築のために、住民の主体的な参加のもと地域福祉を推進している優れた実践を掘り起こし、その活動から学んでいくことを目的に、全国から優秀な実践を募集して表彰しています。今年で7回目になりますが、厳選な審査の結果、今回は貴団体と宝塚市社会福祉協議会が選ばれました。審査で特に評価された点は、地域に根ざした中間支援組織として役割機能のユニークさと、知多半島の地域福祉推進というミッションに基づいたネットワークによる多彩な活動展開です。これからも多いに全国に発信してください。

協働ロードマップ事業の報告会

ルールブック推進フォーラム2010にて

昨年8月から関係者の協議を重ね、原案を作成した「要介護状態にない高齢者のための地域の交流の場」をテーマとした協働ロードマップについて、3月25日にあいちNPO交流プラザで行われた「ルールブック推進フォーラム2010」で地域福祉サポートちたが報告を行った。

前半NPOと行政の実務者会議での検討結果の報告があり、以下の4つの提言がなされた。①さまざまな分野・規模・形態で協働していこう②日頃のコミュニケーションと中長期的視点での協議を進めよう③NPOのさらなるレベルアップをめざそう④ルールブックによる協働を促進し、さらに進化(深化)させよう

ロードマップについては、概要について社会活動推進課から説明があった後、テーマの担当課である高齢福祉課から「NPOと協働しロードマップづくりをして感じたこと」の報告と協議の流れとロードマップに盛り込んだ内容についてサポートちたが説明した。会場からは、今回のテーマ設定がどのようになされたのかについて質問があり、県が説明。今後、テーマ設定からNPOが関わる仕組みが必要との課題が共有された。(岡本)

サービ斯拉ーニング 大学との協働を進める

筑波学院大学・明治学院大学視察

3月8日(月)、サービ斯拉ーニング他大学調査として、筑波学院大学と明治学院大学横浜ボランティアセンターを訪問した。

筑波学院大学では、「社会力」豊かな人間力を育てるための、オフ・キャンパス・プログラム(OCP)を実践している。OCPは、3年間の必須科目として学生が、つくば市を中心に地域活動している市民活動団体やNPO法人に出向し、活動するプログラム。1年次に1回、2

年次に30時間以上の活動、3年次には60時間以上の活動を自分で企画を立てる。近年は、このOCPを希望し入学する学生がで始めた。

明治学院大学は、ボランティア登録団体が300以上あり、ボランティアサークルも20程ある。約10名の学生スタッフがセンター運営に関わり、実際の活動企画を立て、団体説明会の開催や、ホームページの作成等に携わっている。

両校とも、地域の市民活動団体・NPO法人の理解と協力を以て継続している。(竹内)

「フレマクラブ彦州」完成

学童保育所“みんなの木”の事業をはじめ、児童デイサービス等、子育て支援展開する複合施設「フレマクラブ彦州(ヒコス)」が半田市彦州町に完成、4月16日内覧会があった。

NPO法人わたぼうしが、児童デイサービスを担うというユニークな運営方法。また、畑・運動場・調理室・習いごと室等を完備、子どもたちへの実体験を優先させる造りになっている。(竹内)

ゆめじろう お披露目会

4月29日、NPO法人ゆめじろうのお披露目会が武豊町富貴の拠点で行われた。この日は晴天に恵まれ、武豊町長をはじめ、多くの来賓があり、また地元グループによる和太鼓演奏が花を添え、大変な賑わいだった。建物の通称は「ジロムーチョ」。昨年6月にジロムーチョ裏へ事務所を移転、今回は「ひるじろう」と「こじろう」の活動を別々にし、コロッケ販売できる施設にした。



今後も、地元で愛される拠点づくりを目指す。(五十嵐)

祝 100回記念 NPO現場見学バスツアー

平成14年6月にスタートして以来、累計3,363人(H21年度末)の方にご参加いただきました。8月19日(木)、定例バスツアー連続開催100回目を迎えます。企画決定後、ホームページ上にて発表させていただきますので、ご期待ください!

ソーシャルファイナンス

資金の「借り手」編

「融資・事業収入」、「会費・寄付収入」の二部制の講座が、3月14日(日)知多市市民活動センターにて行われた。主催はコミュニティ・ユース・バンクmomo、協力はNPO法人エンド・ゴール。

第1部では、参加者が融資審査委員になりきって、融資申込者との面談や、他の委員とのディスカッションを通して融資の可否を決定。「見る立場」を体験することで「見られる視点」を学び、何がリスクと感じるか、お金を貸すには何がポイントかを考えた。

第2部では、ダイレクトダイアログを体験。直接対話によるファンドレイジング(資金調達)は、顔の見える関係を失わずに支援の輪を広げることができる。「新しい公共」をNPOが担っていく時代といわれ、またその責任を負う立場になってきた。自分たちの活動が社会に必要であることを「知ってもらい」、支援者という形で「行動」してもらおう。そんなストーリーづくりの実体験は、従来の広報手段と違い、新しい研修方法として今後注目される。(市野)



今月の
バスツアー



4月22日(木)、第96弾バスツアーが行われ、ネットワーク大府→はっぴいわん大府→りんりん→ゆいの会の4か所を見学した。参加者はゆめじろう、絆、あかりから職員が各2名と、企業からの参加者、合計9名。

感想では、「どの団体も「人」を大切にしている。今まで自分の団体(職場)しか知らなかったが、NPOといっても様々な形態があることがわかった。お金や時間の価値観は人それぞれで、当然地域の背景も異なるため、いろんなNPOがあっいい。それに共感した人たちが自然に集まってくる。」

しかし、その「自然」だけに任せておくと、NPOの経営基盤が弱くなり、公共性が低いという評価になりかねない。それぞれの団体の想いを大切にしながら、より多くの人から理解と共感を獲得するためには、自分たちの活動をPRする新しい手法を開拓する必要がある。(市野)

ソーシャルビジネス全国フォーラム



3月4日(木)、「ソーシャルビジネス・メッセ」(東京/渋谷区)に出展、NPO法人もやいの安井代表と、サポートちたスタッフの2名が参加、主に、NPO現場見学バスツアーを宣伝した。

ソーシャルビジネスとは、社会的な課題をビジネスとして事業性を確保しながら解決する活動。コミュニティビジネスとも言われ、新たな産業・雇用を創出し、地域及び社会・経済全体の活性化の担い手として大きく期待される。しかし、社会的認知度は低く、地域住民、金融機関、企業等から十分な理解や支援を得られてないのが現状だ。このフォーラムは、地域経済の活性化を念頭に関係者が協力し、全国規模での活動等のあり方の検討・提言を進めている。

NPO法人のあつく(寝屋川市)代表の高井氏は、NPOのマネジメント力不足について提言され、少人数で事務運営をしているとありがちなマンネリ化対策に、大学からのインターンシップ制の受け入れをつくることを推し、組織体制の見直しやミッションの再確認につながるとした。また、自分の団体だけでなく「つなげる」ことが大切、と高井氏。彼のメッセージ「NPOを続けたいなら全員で勉強すること。」を肝に銘じたい。(市野)

サポートちた総会のお知らせ

会員の皆様の多数ご参加お待ちしております。

記念講演会 「これまで、そしてこれから」

代表理事 松下典子

日時:5月28日(金)10:00~13:00
場所:知多市市民活動センター

会費納入のお願い

正会員 / (団体) 15,000 円 (個人) 5,000 円
準会員 / (団体) 5,000 円 (個人) 3,000 円

※振込用紙は、後日 総会資料に同封致します。(江端)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

ホームヘルパー2級養成講座

夜間コース in 半田

<予告>

7月17日スタート

<場所> 半田市雁宿ホール

<日時> 月・水・金・土 18:00 ~ 21:00

(サポちた担当: 竹内)

ヘルパー大募集!!

NPO法人楽笑では、「誰もが楽しく笑えるまち」を目指し、障害者支援やまちづくり事業を行っています。詳しくは団体にお問合せください!!

<お問合せ> NPO法人楽笑 (担当: 佐宗・廣永)

TEL: 0533-69-1169

地域の未来を見に行こう

DECOスクール 刈谷キャンパス

今回は、地域の未来のために頑張っている愛知県と三重県の市民団体が大集合。知多半島からは、NPO法人ネットワーク大府、NPO法人もやい、NPO法人地域福祉サポートちたの3団体が出店します。

モノづくり体験やミニ勉強会、美味しい食べ物やレアな雑貨との出会いがあります。「自分たちのため」が、地域で暮らすみんなの幸せに...そんな初めの一步を探してみませんか。

<日時> 2010年6月27日(日) 9:30~16:00

<会場> デンソー本社(刈谷市昭和町1-1)

<対象> どなたでも参加OK! 入場無料

(サポちた担当: 市野)

「新しい公共」推進講座

●第1回(研修会)5月31日 13:00~16:30

愛知県生涯学習推進センター 研修室

●実践活動 6月~8月

●第2回(フォーラム)9月22日 14:00~16:30

ウィルあいち 大会議室

<募集人数> 30名(フォーラムは150名)

<受講料> 無料

<お問合せ> 愛知県教育委員会生涯学習課

TEL: 052-954-6780 (担当: 彦坂)

子育て支援

研修事業共同実施団体の公募

平成22年度事業の公募は以下の通りです。

- ・子育て支援者向け研修事業 2件(大規模、小規模)
- ・地域子育て支援拠点研修事業
- ・企業関係者・団塊世代等の子育て支援協働推進セミナー

事業対象経費は1団体あたり50万円を上限。

詳細につきましては、下記担当窓口にご照会ください。

財団法人 こども未来財団 研修事業部

URL <http://www.kodomomirairaidan.or.jp>

TEL: 03-6402-4821

(サポちた担当: 岡本)

デイサービス開設

NPO法人だいこんの花が、2箇所目の事業所を6月2日、知多市内に開設します。

『デイサービス だいこんの里』

知多市岡田食道 39-7

TEL: 0562-54-1025 FAX: 0562-54-1026

新事業所開設にあわせ、事務備品を無償でお譲り下さい。

- ・事務机(3台) ・イス(3脚) ・キャビネット
- ・書類ケース ・シュレッダー

<お問合せ> NPO法人 だいこんの花 (担当: 荒木)

TEL: 0562-36-0228

—お詫び—

前回3月号の会報の中で、NPO法人くるくるのFAX番号が間違っておりました。関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

訂正前: 0566-28-7496 → 訂正後: 0566-70-7296

第9期マネジメントセミナー

「地域の連携からはじまる新しい公共づくり

5月21日(金)・6月18日(金)

13:30~15:30

NPO現場見学バスツアー

5月18日(火) 9:30~16:30 定員8人



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743

Email spchita@ams.odn.ne.jp

URL <http://www.cfsc.npo-jp.net>

